

# 名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

長谷川龍伸 会長 年度テーマ  
= ロータリーの誇りを胸に、前進しよう =



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

創立 1995年3月9日  
承認 1995年3月28日  
会長 長谷川龍伸  
幹事 松尾雄二郎  
事務局 名古屋市中区栄3-29-1  
名古屋クレストンホテル 1007号  
TEL 052-263-1324  
FAX 052-263-0730  
Mail rc.nagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp  
HP <http://www.nagoya-marunouchi-rc.org/>

例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000  
例会日時 木曜日 12:30  
クラブ会報広報委員長 大岩とよみ

2011-12年度R.I会長  
カルヤン・パネルジー

## 第805回 例会No. 35 平成 24年3月29日(木) 晴

ロータリーソング 「手に手つないで」  
出席報告 会員46名中22名出席  
出席率 53.66% 出席計算人数 41名  
修正出席率 3月15日 修正出席率 97.67%  
スピーカー 藤田守彦さん

### 会長挨拶 長谷川龍伸

皆さん、こんにちわ。

寒い日が続いておりますが、ようやく桜のつぼみもふくらんできました。予報では、名古屋では明日が開花予定日で、来週の週末当たりが満開だそうです。こしばらくの間、昨日のような嵐が吹き荒れないことを祈りたいと思います。

先週の例会後、久しぶりに「歴代会長幹事会」を開催しました。テーマは主に、2013 - 14年度のガバナー補佐とインターシティーミーティングに関することでした。

その中で、歴代会長幹事の方から、「例会の出席率が低い、これは問題であり改善されるべきである」というご指摘をいただきました。私もそのとおりであると思います。そこで、本日は、出席について少し考えてみたいと思います。

クラブ計画書にも載っているとおり、「ロータリークラブ定款」には次のように定められています。

まず、出席について、「各会員は本クラブの例会に出席するべきものとする。会員が、例会に出席したものと見なされるには、例会の少なくとも60パーセントに出席するか、または、会合出席中に不意にその場を去らなければならない場合、その後その行為が妥当であるとクラブ理事会が認める理由を提示するか、または、次のような方法で欠席をメイクアップしなければならない。」

そして、メイクアップの方法として、他のクラブの例会に出席することや、他クラブの例会に出席する目的で例会定刻に例会会場に赴いたとき、当該クラブが例会を開いていなかった場合、などが挙げられています。

次に、欠席について、定款では、「会員身分の存続」という条項で取り上げています。

内容は、まず、「出席率」について、「会員は、年度の各半期間において、メイクアップを含むクラブ例会出席率が少なくとも60パーセントに達していなければならない

い。」また、「年度の各半期間に開かれた本クラブの例会総数のうち少なくともその30パーセントに出席しなければならない。」とされ、「会員が規定通り出席できない場合、その会員身分は、理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り終結することがある。」とされています。また、「連続欠席」について、連続4回例会に出席せず、またメイクアップもしていない場合、クラブ理事会はその旨通知し、理事会はその過半数によって会員身分を終結することができる、としています。

このように、規則上も、出席、欠席は大きな問題として位置付けられています。

もちろん、出席は、それが義務だからというのではなく、出席すること自体が大きな意味のあることであり、ロータリーの会員であることの意義につながることで、非常に大事な問題です。残された期間、出席率を上げるために努力して行きたいと思います。

そして、将来、ガバナー補佐になられた方が、胸を張ってお務めを果たすことができるように、会員みんなでクラブを盛り上げて行きたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。

### ニコBOX

本日は会長エレクトの藤田守彦さんより、次年度の国際ロータリー会長及び地区ガバナーの方針などお知らせいただきます。藤田さん、どうぞ宜しくお願い致します。

長谷川会長、松尾幹事、岩田、二保、矢野、森田、池井戸、若原、金子、大岩、藤野、水野、吉田、亀井、高山、西川(敬称略)

藤田さん 本日、会長エレクトセミナーの報告をさせていただきます。

本日合計 35,000円

### 卓話

「会長エレクト研修セミナー報告」

藤田守彦

ロータリーにおけるリーダーシップ

ロータリーの組織運営は、会員の平等・対等な関係が前提になります。ロータリークラブは、企業のように権限を持ったトップが指示・命令して動かす組織ではありません。クラブの組織力を高めるためには、会員全員の合意形成・対話・協力が重要です。毎年交代するクラブ指導者(会長・理事会等)は、会員のモチベーションを高める

ことと、指導力の継続性(前年度・次年度の指導者との連携)に意を用いることが大切です。また、リーダーは、固定した役割ではなく、リーダーシップを発揮する人は場面によって変わります。会員それぞれがクラブ内でその個性と能力を存分に発揮できるよう、クラブ運営に工夫が必要です。



#### 2012-13 年度 RI テーマ「奉仕を通じて 平和を」

2012-13 年度 RI 会長 田中作次(埼玉県 八潮市)

ロータリー歴 1994-95 年度 地区ガバナー  
2003-05 年度 国際ロータリー理事  
2006-10 年度 ロータリー財団管理委員会

#### 強調事項

##### ロータリー・クラブと地区による平和活動

1. クラブや地区の平和フォーラムを開催する
2. 地域平和フォーラムを開催する
3. 国際双子クラブによる協力関係を結ぶ
4. ロータリー平和フェローを推薦する
5. 紛争の根底にある原因に取り組む奉仕プロジェクトを支援する

##### 2012-13 年度ロータリー世界平和フォーラムの推進

開催都市: ベルリン(ドイツ) 国境のない平和  
2012 年 11 月 30 日 ~ 12 月 2 日  
ホノルル(米国) 平和にいたる緑の道  
2013 年 1 月 25 ~ 27 日  
広島(日本) 平和はあなたから始まる  
2013 年 5 月 17 ~ 18 日

2012-13 年度 2760 地区ガバナー方針

~ Touch the Rotary ~ ふれあい、思いやり、そして握手

2012-13 年度地区ガバナー 千田 毅(名古屋東 RC)

ロータリー歴 1973 年 12 月 名古屋東 RC 入会  
1996 年 会長  
2000 年 地区社会奉仕委員長  
2006 年 東名古屋分区ガバナー補佐

#### 強調事項

- ・ 会員増強
- ・ 東日本大震災 被災高校生支援
- ・ 地区内交流の活性化
- ・ オンツリスボン(RI 国際大会 ホルトガル・リスボン)

#### 例会のご案内

4月5日(木) 第806回例会

「次年度委員会組織」会長エレクト 藤田守彦さん

4月12日(木) 第807回例会 「会員卓話」

## 2012 年 国際協議会 開会本会議

### 「入りて学ぶ」

(Rotary Japan WEB より転載)

#### 田中作次 RI 会長エレクトのスピーチ

1月16日、2012年国際協議会の開会本会議では、例年の通りロータリー加盟国の国旗が紹介されましたが、アルファベット順で紹介される国名の中に「Japan」はありませんでした。すべての国が紹介された後、現国際ロータリー(RI)会長、カルヤン・パネルジー氏の出身国、インドの国旗とともに日の丸が入場しました。RI会長エレクトが日本の田中作次氏だからです。国旗入場の後、ロータリーの発祥国アメリカ、現RI会長のインドに続き、君が代が歌われました。この光景に深い感慨を覚えた日本のガバナーエレクトも多かったことでしょう。

開会本会議は、新年度のRIテーマが発表される、国際協議会の中でも特に注目される会議です。田中氏は、ロータリーに入るまでの自分の人生観がとても狭いものであったと述べ、それまでの経験や、ロータリーでの経験について話しました。

そして、「私はある日、推薦を受けて八潮ロータリークラブに入会しました。それから2年後、ある方が例会に来て、職業奉仕についてお話をしてくださったのです。私は、その日から少しずつ変わっていきました。収入や、売上げを増やすことや、自分の会社をほかの会社よりも良くすることだけでなく、人として、職業人として、もっとよい、もっと高い目的を持って人生を送りたいと思うようになったのです。そしてそのために、ほかの人の役に立つことが、私にとって人生で最も大切だと思うようになりました。さらに私は、どんな些細なことでも、人を助けることがいずれば平和につながることに気づきました。「平和」というのはよく耳にする言葉です。ニュースでも、日常会話でも良く聞きますし、ロータリーでも頻りに口にする言葉ですが、私たちは、「平和」とは何なのか、どういうことなのかを、あまり考えることはありません。一番簡単なのは、「平和」ではない状態がどのようなものを語ることでしょう。つまり、戦争や暴力や恐れることのない状態のことです。飢餓や、弾圧や、貧困を恐れることのない状態です。また逆に、「平和」を、それが何であるか、どういう可能性を秘めているのかで定義することもできます。そういう意味では「平和」は、発言と選択の自由であり、自己決定の権利であると定義できます。安全で安心できる未来を意味し、安定した社会での人生と家庭を意味するとも言えます。そしてもっと抽象的に言うと、「平和」とは幸福感や心の平穏、静けさであるとも言えます。ですから、「平和」が何を意味しているのかは、人によって違うのです。どの定義が正しいとか、間違っているとかということではなく、自分にとって「平和」が意味すること、それがまさに平和なのです」と、平和について語りました。そして、「ロータリアンは、自分よりも、ほかの人のニーズを重視します。自分のためだけではなく、社会全体のためを考えます。「超我の奉仕」という言葉は、人生で本当に大切なこと、エネルギーを注ぐべきことは何なのかを、私たちに教えてくれる言葉です。そうすることで、より平和な世界の基盤を築くことができると考えます。そこで私は、2012-13年度のロータリーのテーマを、「奉仕を通じて平和を」といたしました。それは、「平和」をどのように定義するにしても、私たちは奉仕を通じて、平和をもっと現実近づけることができるからです」と、2012-13年度のRIテーマを発表しました。